

## (1)基本方針

静岡青年会議所は、厳格で規律ある組織運営を継続しつつ、青年らしい先見性や革新性のあるまちづくり運動や活動を行ってきたことで、このまちの人たちからの信頼を高めてきました。しかしながら、青年会議所の会員数の減少による会自体の資金力の低下や、会員同士の絆の希薄化による組織力低下が引き起こり、運動・活動の選択自由度・可能性が制限されています。組織の基盤である財政運営においても、環境の変化に適応していくために今の仕組みや慣例にとらわれず新しい組織基盤や資金調達の方法を構築していく必要があります。

今年度、財政室として、静岡青年会議所の基盤を下支えしてきた財政を理解し、能動的に組織運営に向き合う気概を会員に醸成してまいります。また、財政の立場から運動・活動を支えることで、静岡青年会議所の新たな魅力を創出してまいります。

そのために、青年会議所の組織運営において予算及びコンプライアンスの意義を知る機会を設け、伝えていくことで会員の意識を醸成していきます。会務運営についても、静岡青年会議所の貴重な予算が年間を通じて適正に運用されているか、知的財産の的確な利用がなされているかを、厳正かつ公正に審査するとともに、現状に満足せず常により良い方法を模索し運営を進めていきます。また、事業の設営段階でもコンプライアンスを徹底するよう確認作業を行っていき、会議設営においても、設えの工夫をすることで厳格かつ円滑な会の運営を行っていきます。

青年会議所らしく、また厳格で公正な組織運営が基盤となった運動・活動は会員一人ひとりに魅力を感じてもらうことができます。それが周囲へ伝播していくことで会員同士の絆が生まれ、青年会議所の魅力が高まり、会員数が増えるという正のスパイラルが起こり、この連鎖が永続的に続くことで「明日の笑顔が溢れるしずおか」の創造へと繋がっていくと確信しております。